

## 松川温泉の全体概要と魅力

松川温泉は、同名の川の近くに位置する十和田八幡平国立公園内の温泉町です。町には 3 軒の温泉宿があり、その風呂は八幡平の硫黄を含んだ乳白色の湯です。少し上流には、日本で最初に商業運転を開始した地熱発電所である松川地熱発電所があります。

### 温泉浴

松川温泉の春は、2 本の山間景勝ルート、17 キロの八幡平樹海ラインと 27 キロの八幡平アスピーテラインで長い冬の間降り積もった大雪の除雪作業が完了する 4 月に始まります。除雪された雪の白い壁がそそり立つ雪の回廊で有名なこれら 2 本の道路を車で抜けると、ウグイスの声や芽吹きつつある草木が春の到来を告げる山間の谷に出ます。夏になると、カシヤブナの木が緑の天蓋を差しかけ、夜はホテル観賞を楽しめます。もちろん秋には、見わたす限り赤や黄金色の鮮やかなタペストリーが広がります。そして、辺り一面の雪に物音が吸い込まれる冬には、蒸気性温泉に浸かると、間違いなく、日本のどこの温泉とも比べものにならない極上の禪の境地を堪能できます。健康効果のあるこの地の温泉は、ハイカーやスキーヤーも日帰りを楽しめます。松川温泉には登山道が 3 つあり、1 つは姥倉山を經由して岩手山へ、もう 1 つは三ツ石山荘を通過してそのまま三ツ石山へと続いています。残りの 1 つは源太ヶ岳や大深岳、三ツ石山の頂から息をのむほど美しい岩手山の絶景を楽しみ、松川温泉へと戻ってくる環状ルートとなっています。

松川温泉地区の 3 軒の宿は、宿泊するだけでなく、日帰りでも楽しめます。火山地帯であるこの地特有の乳白色の湯は硫黄泉です。ゆで卵を思わせる匂いが特徴的な、湯の花として知られる鉱物成分を沈殿させた入浴剤もあります。当然ながら、おやつに採れたての卵を大地の女神「ガイア」の恵みでゆでたものもあります。この地熱エネルギーでゆでた温泉卵は、日本各地の温泉で見られるお土産やご馳走として人気があります。湯の花をお土産にすれば、自宅の風呂で本格的な温泉を楽しむこともできます。

もう一つの他に類を見ない松川土産に、布地を地球色「ジオカラー」に染めた鮮やかな色彩のスカーフ、風呂敷、ハンカチ、ハンドバッグ、さらにはドレスまであります。地中からパイプを通過して工房に直接噴き出す天然の硫化水素蒸気を利用し、濃さの違うやわらかい緑や青、ピンクや紫、ゴールドなどの色に染め分けます。ひとつとして同じものない作品は、八幡平の森や湿地、山岳、渓谷、温泉など自然そのもののもつ色の豊かさにあらためて気づかせてくれます。

松川温泉を訪れた人は、松川沿いの露天風呂を楽しんだり、各温泉宿の風呂のはしごをして一日中温泉三昧したりすることもできます。溪流のせせらぎの心地良さや木の間を抜ける風の音の瞑想効果がより深いリラクゼーションへと導きます。これらの硫黄泉の殺菌力は皮膚病の治療に効果があり、硫黄泉の化学成分には循環を改善する働きがあります。さらに、硫黄泉は一般に、気管支炎や神経痛の改善効果が知られています。入浴後にはサイフォンで入れたコーヒーや、背の高いグラスで楽しむ、ブナの木の子で作られた地ビールが待っています。宿泊客に出される食事は、天然の山菜など地元の旬の食材がふんだんに使われ、いつ訪れても季節の恵みを堪能できます。

\* \* \*

松川温泉の詳細情報については、[visitwate.com](http://visitwate.com) をご覧ください。

日本秘湯を守る会については、[hitou.or.jp](http://hitou.or.jp) をご覧ください。

GEOCOLOR の染色工房については、[geo-color.com](http://geo-color.com) をご覧ください。